

ミュージアム タウン萩

日時 3月7日(土) 9:00～16:00

会場 山口県立萩美術館・
浦上記念館

2 きららガラス未来館 制作体験教室

予約
優先

きららガラス未来館で人気の
万華鏡とガラスボールペンの制作体験ができます。
世界にひとつの宝物をつくりませんか？

※制作されたものは当日お持ち帰りいただけます。
※動きやすく、汚れても良い服装で体験ください。
※小学生以下は要保護者同伴。

時間 【万華鏡】
①10:00～／②10:30～／③11:00～
④11:30～／⑤12:00～(各回約30分)
【ガラスボールペン】
①13:30～／②14:00～／③14:30～
④15:00～／⑤15:30～(各回約30分)

参加費 【万華鏡】
当日 1,000円／事前予約 800円
【ガラスボールペン】
当日 500円／事前予約 400円
※参加費は当日現金でお支払いください。

定員 各回24名、随時受付 ※事前予約は定員各回5名。
場所 交流スペース

【協力】きららガラス未来館



3 HAGIBI × お茶会

開催中のコレクション特別展「萩焼の現在形」で、
気鋭の萩焼作家の逸品を、ご覧いただくとともに、
一服の抹茶もお楽しみください。

時間 ①10:30～／②11:30～
③14:00～／④15:00～
参加費 300円(要観覧券)
定員 各回15名程度
場所 本館1階スロープ下

【協力】茶道裏千家淡交会 萩青年部



5 かざぐるま 風車をつくろう！

オリジナルの風車をつくります。

時間 9:00～16:00
参加費 無料
定員 なくなり次第終了、随時受付
場所 エントランスロビー



6 展覧会紹介コーナー

4月18日(土)から開催の特別展
「開館30周年記念 ロードアイランド・スクール・
オブ・デザイン所蔵 ロックフェラー・コレクション
花鳥版画展 北斎、広重を中心に」を紹介。

時間 9:00～16:00
場所 エントランスロビー

4 キーホルダーづくり

当館所蔵の作品をイメージした
オリジナルのキーホルダーをつくります。

時間 9:00～16:00
参加費 無料(小学校低学年以下は要保護者同伴)
定員 なくなり次第終了、随時受付
場所 エントランスロビー



予約
申込

イベント2、9の
ご予約は
こちらから！



【予約開始】2月15日(日) 9:00～

※各イベントによって申込条件が異なります。
詳しくはイベント内容、予約専用サービスをご確認ください。
※各イベントへのご参加はお一人様1回限りとさせていただきます。

「HAGIBI × たらまち」

小さな町並みのなかに、江戸時代から長い歴史を紡ぐお寺が
軒を連ねる萩の旧城下町。このたびは寺町地区に隣接する、
萩藩毛利家とゆかりが深い長寿寺と広雲寺にスポットを
当て、大切に守り継がれてきた寺宝を紹介します。



トピック展示 2/27(金)～3/15(日) 「長寿寺の寺宝ールソン壺」

長寿寺に伝わる文化財の中から、桃山・江戸時代の茶人や大名たちに
「呂宋壺」と呼ばれて珍重された茶壺《黄褐釉五耳壺》を公開し、
お寺の歴史や宝物をパネル展示で紹介します。

会期 2月27日(金)～3月15日(日) ※3月2日(月)・9日(月)休館
9:00～17:00(入場は16:30まで)
会場 山口県立萩美術館・浦上記念館
陶芸館1階 多目的室
観覧料 大人400円、学生250円

※70歳以上と18歳以下の方、および高等学校、
中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料。
※障害者手帳等をご持参の方と、その介護の方1名は無料。
※開催中のコレクション展示もご覧いただけます。



毛利家より拝領したと伝わる茶壺

黄褐釉五耳壺(呂宋壺) 長寿寺蔵

8 3/7(土) 学芸員による美術講座 「長寿寺のみほとけ」

日時 3月7日(土) 11:00～12:00(開場10:30)
会場 山口県立萩美術館・浦上記念館 講座室
講師 末吉武史(山口県立萩美術館・浦上記念館主幹)
参加料 無料



9 3/8(日) 学芸員と ウォーキングツアー in たらまちー長寿寺・広雲寺

要予約

日時 3月8日(日) 12:30～16:30

【スケジュール】※変更になる可能性があることをご了承ください。

12:30 美術館に集合、徒歩で散策しながら長寿寺へ移動
13:00 長寿寺の寺宝・仏像と仏画を鑑賞
14:30 広雲寺の寺宝・涅槃図を鑑賞、数珠繰りを体験
15:30 美術館へ徒歩で移動
16:00 トピック展示を鑑賞～解散

参加料 500円(お一人)
山口県立萩美術館・
浦上記念館観覧料を含む
定員 20名
(事前申込・先着順)



必見! 縦・横約3mの豪華な涅槃図

生駒等寿《涅槃図》17世紀 広雲寺蔵

ちょうじゅ 長寿寺

慶長16年(1611)に毛利輝元の帰依を受
けて建立された浄土宗西山禅林寺派のお
寺です。境内には山口県指定文化財であ
る平安時代の不動明王像や、鎌倉時代の
石造十三重塔が残っています。ご本尊が時
代の異なる3体の阿弥陀如来像という珍し
いお寺で、萩藩とも縁のある貴重な仏像や
絵画が守り伝えられています。

こううん 広雲寺

江戸時代は龍昌院といい、萩藩初代藩主・毛利秀就の正室・喜佐
姫(龍昌院)の菩提寺でした。明治のはじめに2つの末寺が合併
して、広雲寺と改称した浄土宗鎮西派のお寺です。寺宝には、
公家の鷹司家に奥入れた秀就の娘・竹姫の家来であった画家・
いこまとうじゅ 生駒等寿(1626～1702)が描いた巨大な涅槃図があります。



長寿寺境内